

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-1	人権教育・啓発推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	小澤 拓也
施策体系	総合計画上の施策名	11	人権意識の高揚	
	施策名（評価単位）	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	「美濃市人権教育・啓発の指針」に基づき、市民一人ひとりが人権に関するさまざまな課題について認識を深めるために、学校・地域・家庭・職場その他あらゆる場を通じて教育を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題市民啓発講演会を開催しました。 ・地区公民館において、人権学習会を開催しました。 ・人権週間の活動を実施しました。 ・「わたしのメッセージ展Ⅰ、Ⅱ」を開催しました。 ・人権問題交流会を1回開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	566,796	432,109	376,719	657,000
② 人件費	900,000	300,000	300,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	1,466,796	732,109	676,719	1,557,000
前年度比（％）		49.9%	92.4%	230.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,466,796	732,109	676,719
④ 活動一単位当たりコスト	366,699.0	183,027.3	225,573.0	389,250.0
前年度比（％）		49.9%	123.2%	172.6%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から視察等の事業及び人権啓発講演会、地区別講演会の一部を開催中止としたため活動一単位あたりのコストが増加しました。令和4年度は業務量の見直しにより人件費が増額したため活動一単位あたりのコストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	人権に関する市民啓発講演会の開催回数				単位：	回
	指標説明	市民に広く人権教育を推進するために行う市民啓発講演会の開催状況					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	4	4	3	4		

(4) 成果指標	指標名	人権問題市民啓発講演会参加人数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	人権教育・啓発事業のなかで中心的な行事の出席者数の状況					
	目標値の設定方針	240人以上の参加を目指します					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	240	240	240	240		
	実績値	230	286	150			
達成度（％）	95.8%	119.2%	62.5%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民啓発講演会などの実施により、市民に対し広く人権教育を実施し確実に成果を上げてきました。しかしながら、インターネット上での人権侵害など人権問題が複雑化しています。市民一人ひとりの人権への正しい理解と人権意識の高揚を図る必要があります。また、市民啓発講演会の参加者の拡大を図る必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
人権への正しい理解と人権意識の高揚を図るために、市民啓発講演会をより理解しやすく市民の要望に沿った内容とし、広報等により参加者を拡大します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
人権への正しい理解と人権意識の高揚は、人権教育を推進する上で重要な課題となります。さらに啓発・推進していくために、人権週間に行うメッセージ展の開催、地区別講演会など、各種行事の充実をします。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-2	家庭教育推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	小澤拓也
施策体系	総合計画上の施策名	17	青少年健全育成の推進	
	施策名（評価単位）	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	乳幼児・児童の保護者を対象に家庭教育の学習機会を設け、家庭での子どもの教育を充実します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<p>○乳幼児家庭教育学級を開催しました。 0～3歳の未就園児をもつ保護者を対象に、子育てについて自らテーマをもって学習する「たんぼぼ学級」の学習会を開催しました。 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症により開級式のみ開催 ○市内5小学校、2中学校、1園の家庭教育学級への支援を行いました。 各校・園に家庭教育学級の事業委託として、それぞれ3万円を交付しました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト		（単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
① 直接事業費	373,559	260,400	240,000	377,000		
② 人件費	2,925,000	2,250,000	2,250,000	2,400,000		
③ 合計コスト ①+②	3,298,559	2,510,400	2,490,000	2,777,000		
前年度比（％）		76.1%	99.2%	111.5%		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他特定財源	6,900	200	200	15,000	
	一般財源	3,291,659	2,510,200	2,489,800	2,762,000	
④ 活動一単位当たりコスト	46,458.6	71,725.7	80,322.6	39,671.4		
前年度比（％）		154.4%	112.0%	49.4%		
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学習会が中止となったことから活動一単位当たりのコストが増加しました。令和4年度は業務量の見直しにより人件費が増額しましたが、家庭教育学級の開催数を例年通り見込んでいるため、活動一単位当たりのコストは減少しています。					

(3) 活動指標	指標名	開催回数				単位：	回
	指標説明	家庭教育学級の開催回数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	71	35	31	70		

(4) 成果指標	指標名	家庭教育学級の学級生参加率		単位：	％	評価：	+
	指標説明	家庭教育学級学習会（たんぼぼ学級）参加者／学級生数（令和元年度実績より指標見直し）					
	目標値の設定方針	各家庭教育学級生の7割の参加率を目指します。					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	70	70	70	70		
	実績値	69.5	2	2			
達成度（％）	99.3%	2.9%	2.9%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）				評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No		
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No		
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No		
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No		

5. 評価・課題	
<p>乳幼児学級では学級生（保護者）に重点を置いた学習会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からほとんどの学習会が中止となりました。 学習会の内容や開催方法を今後の感染症の状況などを考慮した活動にしなければなりません。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>市内各校・園に他校・他市の家庭教育学級の情報の提供。家庭での在宅取組を促進します。 乳幼児学級では感染症対策等を徹底し、学習会の開場や内容を変更することで安心して参加できる活動にします。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
<p>当事業は子育て世代からの評価も高く、今後も継続していく必要があります。 家庭教育学級の参加者数・参加率を上げるために、積極的な情報収集を行い、各学級への情報提供を行います。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-3	青少年健全育成事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	平野一彦
施策体系	総合計画上の施策名	17	青少年健全育成の推進	
	施策名（評価単位）	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	「大人が変われば、子どもが変わる」をスローガンにして、青少年の健全な育成を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしの主張美濃市大会」を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、縮小・無観客での開催とし、発表者小学生5名、中学生6名、高校生2名計13名の参加にて開催しました。 7月の青少年非行・被害防止全国強調月間に合わせ、夏休みに向けて講演会及び「連合PTA研究大会&青少年健全育成を考えるつどい」並びに青少年育成「市民のつどい」の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。 11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、「少年をとりまく諸問題～少年の気持ちに寄り添う～」と題して、県警本部舟口管理監を招き、青少年育成市民会議講演会を開催しました。 少年補導センターによる街頭補導、非行防止活動、子ども会育成協議会、JLC活動の支援を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト		（単位：円）			
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	1,218,850	1,300,900	1,216,700	1,211,000	
② 人件費	6,375,000	6,225,000	6,225,000	1,650,000	
③ 合計コスト ①+②	7,593,850	7,525,900	7,441,700	2,861,000	
前年度比（％）		99.1%	98.9%	38.4%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,593,850	7,525,900	7,441,700	2,861,000
④ 活動一単位当たりコスト	1,265,641.7	1,254,316.7	1,488,340.0	476,833.3	
前年度比（％）		99.1%	118.7%	32.0%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和4年度は業務量の見直しにより人件費が減額したため、活動一単位あたりのコストが減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	青少年育成推進委員会の開催回数				単位：	回数
	指標説明	青少年育成事業を進める上で核となる組織の活動状況					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	6	6	5	6		

(4) 成果指標	指標名	子ども育成講演会及び市民のつどい出席者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	青少年育成事業のなかで中心的な行事の出席者の状況							
	目標値の設定方針	青少年健全育成を考えるつどい100人、市民のつどい500人以上の参加を目指します。							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	500	500	500	500				
	実績値	350	0	0					
達成度（％）	70.0%	0.0%	0.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>青少年が有害環境にさらされたり、犯罪やトラブルに巻き込まれたりすることなく、家庭、学校、地域が一体となって、情報の交換・共有を図り、青少年の健やかな成長を地域全体で支える環境づくりを推進するとともに、犯罪の未然防止のため、少年補導センターや青少年を守る（育てる）会の支援など活動を行ってきました。市民団体や青少年の参加意識の高揚を図り、青少年参加型事業の定着化とともに、地域での青少年環境づくりへの貢献と、地域連携と情報の共有を図りました。昨年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「青少年健全育成を考えるつどい」及び「市民のつどい2021」は中止となりましたが、新たに青少年育成講演会を設け、地域連携と情報共有を図りました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>青少年が地域社会人として、基本的な生活習慣や日常生活能力等必要な自立力、共生力、自己実現力を身につけ、困難を克服する力や他者の権利を尊重できる心が育まれるよう環境づくりを支援します。また、地域ボランティア、市民団体等と連携を図り、地域の伝統文化・行事により、青少年が主体的に地域づくりに参画できるよう、体験・経験を積む機会を充実していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
<p>青少年の健全育成に関わる教育・福祉分野との連携及び家庭、学校、市民団体、地域、警察と連携を密にし、青少年が地域社会を支える人材として活躍できるよう、市民参加型の事業とし内容を充実させ、より良い青少年を健全に育成する仕組みづくりと組織改革を行い、住みよい環境づくりを充実させていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-4	生涯学習推進事務事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	小澤拓也
施策体系	総合計画上の施策名	18	生涯学習活動の推進	
	施策名（評価単位）	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	「1市民・1芸・1スポーツ・1ボランティア」の実践に向け、市民のライフスタイルに合わせた、多様な生涯学習の提供と学習環境の充実を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を中有知小学校と大矢田小学校と藍見小学校の3校区の公民館で実施しました。 ・土曜の教育活動推進事業として、子どもを対象にした木のワークショップを3地区で開催しました。 ・安心して生涯学習が行えるよう全市民を対象に市民活動災害補償保険（いきいき保険）に加入しました。 ・生涯学習センターなど生涯学習施設の適正な維持管理に努めました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	15,547,655	17,800,889	14,760,184	13,539,000	
② 人件費	3,000,000	2,700,000	2,700,000	3,900,000	
③ 合計コスト ①+②	18,547,655	20,500,889	17,460,184	17,439,000	
前年度比（％）		110.5%	85.2%	99.9%	
財源内訳	国・県支出金	991,000			
	市債	-	-	-	
	その他特定財源	104,200	223,630	223,144	574,000
	一般財源	17,452,455	20,277,259	17,237,040	16,865,000
④ 活動一単位当たりコスト	370,953.1	418,385.5	671,545.5	348,780.0	
前年度比（％）		112.8%	160.5%	51.9%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は事業費が減額したため、合計コストが減少していますが、放課後子ども教室及び土曜の教育活動の開催回数が新型コロナウイルス感染症の影響により減少したため活動一単位あたりのコストは増加しています。令和4年度は例年通りの子ども教室等の開催を見込んでいるため、活動一単位あたりのコストが減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	子ども教室の開催回数				単位：	回
	指標説明	子どもを対象にした放課後や土日等の活動の回数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	50	49	26	50		

(4) 成果指標	指標名	子ども教室の参加人数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	放課後や土日等の活動の参加人数							
	目標値の設定方針	1回あたり20名の出席							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	1,150	1,400	800	1,000				
	実績値	1317	784	538					
達成度（％）	114.5%	56.0%	67.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>放課後子ども教室を3校区の公民館で開設しています。内容は概ね好評で、子どもたちが地域の人たちに見守られて活動することで繋がりができています。今後の課題として、スタッフとなる地域サポーターの確保や、他地区での開催を検討していく必要があります。</p> <p>土曜の教育活動推進事業「木をテーマとしたワークショップ」を3地区で開催しました。今後はこの事業から、地域の新たな展開や活性化に繋がっていくことが期待できると考えます。課題として、事業の周知を更に図っていくことや、マンネリ化を防ぐ意味でも前年度からの内容に変化を加えるなどの工夫が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>ワークショップ内容の見直しと、地域事業として展開していくきっかけとなるような活動にしていきます。</p> <p>放課後子ども教室の地域サポーター確保と、子どもが安全安心に過ごせる居場所が1つでも多く提供できるよう、学校や地域と連携していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
<p>地域の中で子どもを見守っていく体制が確立されつつあります。</p> <p>今後は十分なサポーターを確保し、児童に安心安全な居場所を提供していくことで、更に地域と連携していきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-5	梅山大学活動事業	担当課	人づくり文化課(中央公民館)
			作成者	幅 仁史
施策体系	総合計画上の施策名	18	生涯学習活動の推進	
	施策名(評価単位)	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	高齢者が、生涯学習を通じてその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	入学式・開講式の挙行。 中央研修として、日帰り研修、文化祭、講演会などを実施。 クラブ活動ごと、あるいは地区ごとに独自の活動を実施。 執行部会、運営委員会を開催して、自主的な運営を行いました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	170,280	162,964	244,197	332,000
② 人件費	825,000	825,000	450,000	525,000
③ 合計コスト ①+②	995,280	987,964	694,197	857,000
前年度比 (%)		99.3%	70.3%	123.5%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	995,280	987,964	694,197
④ 活動一単位当たりコスト	34,320.0	49,398.2	36,536.7	38,954.5
前年度比 (%)		143.9%	74.0%	106.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度は業務量の見直しにより合計コストが減少し、活動回数も新型コロナウイルス感染症の影響により減少したため、活動一単位あたりのコストが減少しています。令和4年度は業務量の見直しにより人件費が増額しています。			

(3) 活動指標	指標名	中央研修会等の活動回数				単位:	回
	指標説明	中央研修会等の活動回数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	29	20	19	22		

(4) 成果指標	指標名	学生数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	入学式時点での学生数							
	目標値の設定方針	前年度実績の100%							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	133	191	154	113				
	実績値	191	154	113					
達成度 (%)	143.6%	80.6%	73.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
大学生、大学院生、助手で構成されているが、全体的に高齢化が進んでいます。高齢者のうちでも若い世代の人々は、こうした集まりに参加することをためらう人が多く、新入生が得られないため、全体として学生数が減少傾向にあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
60歳代の方々を中心に、梅山大学への入学をさらに働きかけていきます。また、高齢消費者被害防止事業をさらに活用し、一層充実したプログラムとすることにより新入生の獲得を図ります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
高齢化時代を迎え、今後ますます元気な高齢者が増加していきます。元気な高齢者とその年齢にふさわしい社会的能力を高め、教養を研鑽していくためには、梅山大学活動を今後も続けていくべきです。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-6	図書館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	総合計画上の施策名	18	生涯学習活動の推進	
	施策名（評価単位）	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	図書資料・情報の収集、施設の充実により「知の拠点」として、市民の学習機会の場に供します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<p>専門化、細分化した図書や最新の情報に沿った図書を購入しました。「おはなし会(読み聞かせ)」を開催し、子どもたちに本に親しむ機会を提供することで、子どもの読書活動を推進しました。市内の各小学校へ出掛ける移動図書館や館内で開催する古本市など、図書サービスの多様化を図りました。</p>

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	25,541,812	29,677,238	27,273,109	48,250,000
② 人件費	1,350,000	1,425,000	1,425,000	1,650,000
③ 合計コスト ①+②	26,891,812	31,102,238	28,698,109	49,900,000
前年度比（%）		115.7%	92.3%	173.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	26,891,812	31,102,238	28,698,109
④ 活動一単位当たりコスト	94,357.2	122,449.8	100,695.1	175,087.7
前年度比（%）		129.8%	82.2%	173.9%
⑤ コストに関する増減理由（R3年度実績、R4年度見込）	令和2年度に閉館した期間があったため、通常通り開館した令和3年度実績は活動一単位あたりのコストが減少しています。令和4年度は外壁改修工事を予定しているため事業費が増額し、活動一単位あたりのコストが増加しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位：	日
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		285	254	285	285		

(4) 成果指標	指標名	貸出冊数				単位：	冊	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	71,470	76,930	80,000	83,108				
	実績値	73,264	61,686	79,151					
達成度（%）	102.5%	80.2%	98.9%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>築50年以上が経過し老朽化しているため、早急に全体的に改修を実施する必要があります。貸出冊数は令和2年度実績を大きく上回りました。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>安心安全に施設を利用していただけるよう、計画的な整備をしていきます。「おすすめ本」コーナーでテーマを変えて図書を紹介する工夫や、ホームページに新着情報を上げるなどして利用者の興味を促していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
<p>図書館の利用目的は貸出のほかに学習、親子で絵本を見る等、人それぞれです。利用者のニーズに合わせた蔵書の更新や関係機関との連携を行い、利用しやすい環境の図書館にします。また、子どもに本と親しむ機会を提供していくとともに、学校図書館と連携しながら読書活動を推進します。</p>		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-7	成人式開催事業	担当課	人づくり文化課(中央公民館)
			作成者	幅 仁史
施策体系	総合計画上の施策名	18	生涯学習活動の推進	
	施策名(評価単位)	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	成人式を開催し、社会生活での自立と自覚を促します。
------------	---------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	美濃市文化会館で開催しました。各地区からの新成人実行委員を選出し、実行委員の企画立案により運営しました。新型コロナウイルス感染が拡大する中で開催が心配されましたが、新成人182名中142名の出席があり、無事開催することができました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	378,787	346,437	396,254	453,000
② 人件費	2,325,000	2,700,000	1,575,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	2,703,787	3,046,437	1,971,254	1,353,000
前年度比 (%)		112.7%	64.7%	68.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,703,787	3,046,437	1,971,254
④ 活動一単位当たりコスト	193,127.6	217,602.6	492,813.5	96,642.9
前年度比 (%)		112.7%	226.5%	19.6%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度は、実行委員数が減少したため、活動一単位当たりのコストが増加しています。令和4年度は、例年通りの実行委員数を見込んでいること及び業務量の見直しにより、活動一単位当たりのコストが減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数				単位:	人
	指標説明	成人式打ち合わせ会に出席した実行委員延べ数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	14	14	4	14		

(4) 成果指標	指標名	成人式出席者数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	成人式に出席した新成人の数							
	目標値の設定方針	新成人の数							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	226	199	200	200				
	実績値	181	165	142					
達成度 (%)	80.1%	82.9%	71.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
例年、一定数の出席者がありますが、新成人にとって人生の節目となるような事業にするために、自ら内容を企画・立案する必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
実行委員公募の告知を拡充し、新成人自らが企画運営する手作りの成人式であることを広くPRした上で開催します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
成人式は人生の節目の行事として全国各地で実施しています。美濃市では毎年、新成人が自ら実行委員会を組織し、成人式を企画運営しています。民法の一部改正により、令和4年(2022年)4月1日から成年年齢が、20歳から18歳に引き下げられたことにより、令和5年1月に市内及び美濃市出身の20歳となる方を対象に、従来の成人式にかわって「二十歳を祝う会」として、二十歳の節目に思い出に残る式典となるよう実行委員会と共に実施していきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-8	中央公民館運営補助事業	担当課	人づくり文化課(中央公民館)
			作成者	幅 仁史
施策体系	総合計画上の施策名	18	生涯学習活動の推進	
	施策名(評価単位)	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために中央公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	美濃市中央公民館の職員は現在3名ですが、うち1名は梅山大学および美濃公民館の事務を主にしているため、中央公民館の事務については2名で行っています。中央公民館の主催する生涯学習講座は16講座を計画し13講座が開催され、延べ1,094人の出席がありました。また、定期的に使用している団体は62団体でありました。その他貸館業務として2,042件ありました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト					(単位:円)	
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
① 直接事業費	11,760,367	11,723,116	11,357,021	11,511,000		
② 人件費	3,075,000	2,325,000	825,000	525,000		
③ 合計コスト ①+②	14,835,367	14,048,116	12,182,021	12,036,000		
前年度比 (%)		94.7%	86.7%	98.8%		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他特定財源	1,742,320	1,011,960	1,189,530	1,680,000	
	一般財源	13,093,047	13,036,156	10,992,491	10,356,000	
④ 活動一単位当たりコスト	872,668.6	1,080,624.3	937,078.5	668,666.7		
前年度比 (%)		123.8%	86.7%	71.4%		
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度は業務量の見直しにより活動一単位当たりのコストが減少しています。令和4年度は開催講座数を新型コロナウイルス感染症拡大前の数値とほぼ同じにしているため、活動一単位当たりのコストが減少しています。					

(3) 活動指標	指標名	生涯学習講座開催講座数				単位:	講座
	指標説明	生涯学習講座開催講座数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	17	13	13	18		

(4) 成果指標	指標名	生涯学習講座参加延べ人数				単位:	人	評価:	+
	指標説明	生涯学習講座参加延べ人数							
	目標値の設定方針	生涯学習講座当初募集定員延べ人数							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	3,307	2,500	1,910	2,209				
	実績値	1,832	1,910	1,094					
達成度 (%)	55.4%	76.4%	57.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>建築後30年以上経過し、建物も設備も老朽化して、使用する市民に不便をかけることもあります。いつも便利に使用できる公民館を維持していかなければなりません。生涯学習講座の数や開催した講座内容は近年ほとんど変わっていませんでしたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした講座があったため、講座募集定員延べ人数が減少しました。今後は新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら市民が本当に望んでいる講座の発掘など、講座内容をよく吟味することが必要となります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>講座受講生、公民館利用者、講師依頼予定者、新講座の講師希望者など、各方面からの要望を反映させた講座を計画します。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
<p>公民館は市民の学習の場としてなくてはならない施設であり、より適切な管理運営をします。生涯学習講座は初心者を対象としているにもかかわらず、くりかえし受講を希望する受講生が多くあることから、市民に定着している事業となっています。自主的な生涯学習活動への入口として、さらに市民の要望に沿ったメニューを取り入れていきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-9	地区公民館施設管理事業	担当課	人づくり文化課(中央公民館)
			作成者	幅 仁史
施策体系	総合計画上の施策名	18	生涯学習活動の推進	
	施策名(評価単位)	(36)	生涯学習活動・青少年健全育成の推進と人権意識の高揚	

2. 事務事業の目的	生涯学習を推進し、地域社会活動を促進するために地区公民館の運営管理をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	洲原、上牧、大矢田、藍見、中有知の5公民館の管理運用がスムーズに行われるよう、需用費、役務費、管理人委託料などを負担し、これらが適正に使用されるよう指導します。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	15,037,760	8,424,756	6,233,521	8,044,000	
② 人件費	2,325,000	2,325,000	450,000	450,000	
③ 合計コスト ①+②	17,362,760	10,749,756	6,683,521	8,494,000	
前年度比 (%)		61.9%	62.2%	127.1%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	296,700	229,360	248,970	274,000
	一般財源	17,066,060	10,520,396	6,434,551	8,220,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,472,552.0	2,149,951.2	1,336,704.2	1,698,800.0	
前年度比 (%)		61.9%	62.2%	127.1%	
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度は業務量見直しのため人件費が減少しています。令和4年度は洲原公民館屋根改修工事等のため事業費が増額しています。				

(3) 活動指標	指標名	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数				単位:	館
	指標説明	使用料を公民館予算へ納付している地区公民館数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	5	5	5	5		

(4) 成果指標	指標名	地区公民館の自主事業数				単位:	事業	評価:	+
	指標説明	地区公民館の自主事業数							
	目標値の設定方針	前年度の100%以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	116	115	126	138				
	実績値	115	126	138					
達成度 (%)	99.1%	109.6%	109.5%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
現在、美濃市には地区公民館7館と中央公民館があり、それぞれ活動を行っています。地区公民館は地域ふれあいセンターに併設されたものと、地域ふれあいセンターを併設しているものがあり、そのどちらも、地域コミュニティーの場として地域づくり活動、生涯学習活動、各種団体活動など、地域活動の拠点となる機能の充実が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
自治会活動、各種団体活動、生涯学習活動などに積極的に取り組み、地域の身近な活動拠点となるよう機能の充実と利用を促進していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
地区公民館は地域ふれあいセンターとしての機能も有しており、地域活動の拠点として適正な管理運営を継続します。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-10	市美術展事業	担当課	人づくり文化課(中央公民館)
			作成者	幅 仁史
施策体系	総合計画上の施策名	20	文化・芸術活動の推進	
	施策名(評価単位)	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	美術展の開催により、水準の高い文化を創造します。
------------	--------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容(令和3年度)	6部門（洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画）90作品の出展がありました。その中から市展賞、市長賞、教育長賞、優秀賞、奨励賞、入選を選考し、表彰状をお渡ししました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト (単位:円)				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	291,961	309,315	291,575	330,000
② 人件費	2,325,000	2,700,000	1,575,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	2,616,961	3,009,315	1,866,575	1,230,000
前年度比 (%)		115.0%	62.0%	65.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,616,961	3,009,315	1,866,575
④ 活動一単位当たりコスト	872,320.3	1,003,105.0	622,191.7	410,000.0
前年度比 (%)		115.0%	62.0%	65.9%
⑤ コストに関する増減理由 (R3年度実績、R4年度見込)	令和3年度、令和4年度は共に業務量の見直しにより人件費が減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数				単位:	回
	指標説明	美術展代表者（審査員）打合せ会開催回数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	3	3	3	3		

(4) 成果指標	指標名	出展数				単位:	点	評価:	+
	指標説明	出展数							
	目標値の設定方針	前年度実績の100%以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	126	125	161	125				
	実績値	114	161	90					
達成度 (%)	90.5%	128.8%	55.9%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市内のみならず、他県や他市町村からの応募もありますが、令和3年度はコロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、開催時期を変更したことへの周知徹底が不十分であったことにより、出展数が減少しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
ホームページや広報等で広く一般に公募案内をするとともに、過去3年間の出品者にも出展依頼を行います。出品作品の申し込み方法の便宜を図るため、今年もFAXによる申し込みを可能とします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
全体としての出展数は減少傾向にあり、令和3年度は著しく減少したことにより、開催時期を秋季の時期に戻し、周知徹底を図ります。美術展としての展示会でなく、部門ごとの展示会等の方法も検討する必要があります。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-11	文化会館運営事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	総合計画上の施策名	20	文化・芸術活動の推進	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	舞台芸術を中心とした公演を実施・誘致して、市民の文化力を向上を図ります。
------------	--------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な施設をめざして、設備の定期点検を行うとともに、トイレ自動水栓の取替修繕を実施しました。 舞台での催し物において、出演者も鑑賞者も満足するよう、舞台技術業務を専門業者に委託しました。 自主事業として「MUSICイベント REVIVAL OF THE NOTE」「第66回美濃市芸能大会」「美濃市民音楽劇「不思議の国のアリス」」を開催しました。 年間を通じて「みの あ〜といんふお」の作品展及びワークショップを開催しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	49,155,295	51,491,480	52,140,300	52,389,000
② 人件費	450,000	450,000	675,000	975,000
③ 合計コスト ①+②	49,605,295	51,941,480	52,815,300	53,364,000
前年度比（％）		104.7%	101.7%	101.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	49,605,295	51,941,480	52,815,300
④ 活動一単位当たりコスト	123,704.0	199,009.5	203,135.8	190,585.7
前年度比（％）		160.9%	102.1%	93.8%
⑤ コストに関する増減理由（R3年度実績、R4年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	文化会館利用数			単位：	回
	指標説明	年間の延べ使用回数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	401	261	260	280	

(4) 成果指標	指標名	市内人口に対する来館者、入場者数割合		単位：	％	評価：	+
	指標説明	年間延べ来館者、入場者数 ÷ 年度末人口 × 100					
	目標値の設定方針	前年度と同率以上					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	113	128	100	100		
	実績値	127.4	36.8	54.6			
達成度（％）	112.7%	28.8%	54.6%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
文化会館は市民の文化芸術活動の基盤として、常に満足できる設備と態勢を保つ必要があります。文化芸術活動に対する市民からの要望は多様化、細分化しているため、情報収集と対応力の向上が求められています。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
施設、設備の老朽化が著しいため、今後も継続して計画的に改修、更新を行います。市民の要望に応えられる自主事業の展開ができるよう、様々なチャンネルを通じて要望調査を行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
本格的な音響・照明設備等を備えた市内唯一のホールとして、文化の向上に寄与してきました。施設の適切な維持管理、舞台設備の改修等、多額の経費が必要になるため、優先順位をつけながら長期計画に基づいて実施します。平成25年度から移行した指定管理者制度も10年目となりましたが、今後も更なる文化向上を目指し事業展開を行います。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-12	芸術文化協働推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	三島美奈子
施策体系	総合計画上の施策名	20	文化・芸術活動の推進	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	市民協働による文化芸術活動の促進及び支援し、文化芸術及び文化力の向上を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	・市民文化の向上を目的に設立された「NPO法人 四つ葉のコウゾ」に事業を委託し、協働事業として市内各団体と連携しながら、「ウタガキ・美濃」と銘打って年間で5回、市内各所でコンサート等の開催、各団体への協力を実施し、幅広く活動を展開しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	3,500,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
② 人件費	450,000	450,000	375,000	675,000
③ 合計コスト ①+②	3,950,000	1,450,000	1,375,000	3,675,000
前年度比（％）		36.7%	94.8%	267.3%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	3,950,000	1,450,000	1,375,000
④ 活動一単位当たりコスト	564,285.7	362,500.0	275,000.0	612,500.0
前年度比（％）		64.2%	75.9%	222.7%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は業務量の見直しにより人件費が減少したことにより活動一単位あたりのコストが減少しています。令和4年度は新規事業「クラシカルコンサート」を予定しているため、事業費が増額し、業務量の見直しにより人件費が増額するため活動一単位あたりのコストが増加します。			

(3) 活動指標	指標名	開催回数			単位：	回
	指標説明	コンサート等催し物の開催回数				
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
		7	4	5	6	

(4) 成果指標	指標名	延べ来場者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績の105%以上						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	1,030	880	170	670			
	実績値	980	161	638				
達成度（％）	95.1%	18.3%	375.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民・地域団体との協働による音楽やパフォーマンスを開催し、地域の活性化と市民の文化力を高めることができました。今後も、市民の要望に即したものを市内全域にわたり実施していくことが必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
各団体との情報交換により、さらに効果的に協働できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
新型コロナウイルス感染対策を実施しながら5回の催し物を実施することができました。市民・地域団体と協働による音楽やパフォーマンスを開催し、地域活性化と市民文化の向上を図るため継続して事業展開を行います。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-13	市内遺跡発掘調査事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	石井里英
施策体系	総合計画上の施策名	22	文化財の保護・継承	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	各種開発に伴う試掘・本調査や保存目的の測量・発掘調査等を行い、遺跡の保全・保護をします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	各種開発に伴う試掘調査 7件・78㎡ 保存目的の測量・発掘調査 2件 工事立会 2件

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	8,540,023	8,829,852	7,802,972	10,283,000
② 人件費	1,905,000	1,275,000	1,275,000	3,525,000
③ 合計コスト ①+②	10,445,023	10,104,852	9,077,972	13,808,000
前年度比		96.7%	89.8%	152.1%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	10,445,023	10,104,852	9,077,972
④ 活動一単位当たりコスト	13,761.6	29,460.2	116,384.3	138,080.0
前年度比		214.1%	395.1%	118.6%
⑤ コストに関する増減理由	令和3年度は試掘調査対象事業が小規模なため、調査面積が減少したことにより活動一単位当たりのコストが増加しました。令和4年度は業務量の見直しにより合計コスト及び活動一単位当たりのコストが増加しました。			

(3) 活動指標	指標名	調査面積			単位：	㎡
	指標説明	各種開発や保存に伴う調査				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	759	343	78	100	

4. 評価・課題	各種開発に伴う調査は義務的なものであり、令和3年度も開発事業者の工期に配慮し、迅速に事前調査を行えました。保存目的の調査は史跡の範囲確認を継続して進めています。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
各種開発に伴う調査は工期に配慮し、工事着工に遅れが出ないように迅速に行います。保存目的の調査については範囲及び形状の確認を行い、保存方法を検討します。		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
開発に伴う事前確認調査については、今後も開発事業を円滑に進めるため、遅滞なく進めていきます。保存目的調査については、新しく得られた知見を市民に公開し、文化財に対する理解を得ながら保護を進めていきます。		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-14	指定文化財修理等補助経費	担当課	人づくり文化課
			作成者	石井里英
施策体系	総合計画上の施策名	22	文化財の保護・継承	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	市民の財産である文化財を保護・保全・伝承していくため、指定文化財の修理・修復を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	指定文化財の修理に対し、美濃市文化財保護費補助金交付要綱及び県指定文化財保護費補助金交付要綱にもとづき補助金を交付。 ・洲原神社中央本殿保存修理 ・祭礼車山（布袋車）収蔵庫保存修理 ・上有知湊保存修理

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	10,509,000	11,742,000	11,088,000	21,284,000
② 人件費	3,150,000	2,925,000	2,625,000	3,150,000
③ 合計コスト ①+②	13,659,000	14,667,000	13,713,000	24,434,000
前年度比（％）		107.4%	93.5%	178.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	13,659,000	14,667,000	13,713,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,276,500.0	7,333,500.0	4,571,000.0	4,886,800.0
前年度比（％）		322.1%	62.3%	106.9%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は県指定文化財の修理件数が増加したため、活動一単位当たりのコストが減少しました。令和4年度は業務量の見直しにより合計コストが増加しますが、修理件数が増加したため、活動一単位当たりのコストはほぼ例年通りとなります。			

(3) 活動指標	指標名	指定文化財修理件数				単位：	件
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		6	2	3	5		

(4) 成果指標	指標名	指定文化財修理件数				単位：	件	評価：	+
	指標説明	指定文化財の損傷箇所を修理することによって文化財という財産を次代に伝える							
	目標値の設定方針	前年度にあった文化財の修理件数							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	6	2	3	5				
	実績値	6	2	3					
達成度（％）	100.0%	100.0%	100.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
修理事業内容を精査し、緊急を要する修理については柔軟な予算対応が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
計画的な修理が行えるよう、指定文化財の状況等、所有者との連絡を適宜取れるようにします。修理内容によっては長期間にわたるものもあるため、専門家も交え、修理計画をたてます。また、昨今みられるような集中豪雨による倒壊など緊急を要するものについては、迅速に対応できるようにします。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
要望があるものについて着実に修理が行われています。今後も計画的に修理等を行います。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-15	美濃和紙用具ミュージアム施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	池戸真由
施策体系	総合計画上の施策名	22	文化財の保護・継承	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	美濃和紙産業を支える用具類及び民俗資料を展示し、次世代へと継承します。
------------	-------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用業務（観覧者受付、案内、体験業務等） 施設清掃業務（体育館、グラウンド除く） 収蔵資料管理（整理、展示品入替え）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	6,013,712	3,747,478	3,546,280	3,813,000	
② 人件費	1,200,000	900,000	1,650,000	3,150,000	
③ 合計コスト ①+②	7,213,712	4,647,478	5,196,280	6,963,000	
前年度比（％）		64.4%	111.8%	134.0%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	35,160	30,170	23,200	34,000
	一般財源	7,178,552	4,617,308	5,173,080	6,929,000
④ 活動一単位当たりコスト	23,651.5	17,943.9	19,104.0	22,607.1	
前年度比（％）		75.9%	106.5%	118.3%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は業務量の見直しにより人件費が増加したため、合計コストが増加しています。令和4年度は業務量の見直しにより人件費が増加したため合計コストが増加しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの開館日数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	305	259	272	308	

(4) 成果指標	指標名	入館者数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃和紙用具ミュージアムふくべの入館者					
	目標値の設定方針	前年度実績以上					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500		
	実績値	1332	386	375			
達成度（％）	88.8%	25.7%	25.0%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
平成21年度から収集を開始した美濃和紙用具等の恒久的展示施設として平成30年7月に「美濃和紙用具ミュージアムふくべ」をオープンしました。コロナ禍のなか入場者数が落ち込んでいますが、適切な感染対策を実施し、多くの方に来館していただけるようにする必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
定期的な展示の入替えや小学校への周知活動を行なっていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
美濃和紙用具等の民俗資料は、後世に伝承すべき貴重な資料であります。また、美濃和紙の里会館、美濃手すき和紙の家にも隣接しており相乗効果が期待できるため、相互連携を図り積極的にPRしてまいります。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-16	文化遺産活用推進事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	高木宏和
施策体系	総合計画上の施策名	22	文化財の保護・継承	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	市内に点在する文化財を指定・未指定にかかわらず幅広く捉え、周辺環境まで含めて総合的に保存・活用するための計画を作成します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	歴史的公文書、商家や社寺を中心に文化財悉皆調査（古文書、書画、仏像、棟札、祭礼行事）を実施しました。悉皆調査で得られた基礎データは市史編纂に活用しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	14,416,895	8,746,429	7,917,950	8,252,000	
② 人件費	5,700,000	7,275,000	6,900,000	6,150,000	
③ 合計コスト ①+②	20,116,895	16,021,429	14,817,950	14,402,000	
前年度比（％）		79.6%	92.5%	97.2%	
財源内訳	国・県支出金	6,296,000	480,000	328,000	0
	市債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	13,820,895	15,541,429	14,489,950	14,402,000
④ 活動一単位当たりコスト	117,642.7	106,809.5	98,786.3	92,916.1	
前年度比（％）		90.8%	92.5%	94.1%	
⑤ コストに関する増減理由（R3年度実績、R4年度見込）					

(3) 活動指標	指標名	調査、講演、実演、情報発信件数			単位：	日
	指標説明	悉皆調査、講演会、情報発信などの活動日数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	171	150	150	155	

(4) 成果指標	指標名	調査、講演、実演、情報発信件数			単位：	件	評価：	+
	指標説明	悉皆調査、講演会、情報発信などの活動件数						
	目標値の設定方針	基礎データ等の件数						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	920	1,212	1,200	800			
	実績値	914	800	500				
達成度（％）	99.3%	66.0%	41.7%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
美濃市文化財保存活用地域計画の認定、悉皆調査による成果を情報発信することができました。今後は市史編纂に重点を置き、成果を公表する必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
収集した基礎データは市史編纂で活用予定で、史料編として情報公開を実施します。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
美濃市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存・活用を推進します。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-17	町並み保存整備事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	石井里英
施策体系	総合計画上の施策名	21	文化的景観の保全	
	施策名（評価単位）	(38)	文化・芸術活動の推進と文化財の保護・継承	

2. 事務事業の目的	伝統的建造物群保存地区内の歴史的風致を維持し、伝統的・歴史的な景観を向上させるとともに保存地区の保存啓発・PRのため、市民団体の育成に努めます。
------------	--

3. 事務事業の実績	<p>7件の修理に対し、補助金執行事務を行いました。</p> <p>[補助割合] 伝統的建造物指定建造物8/10(限度額600万円)、非指定建造物6/10(限度額400万円)(国補助1/2市補助1/2) 小坂家土蔵 1,001千円、岡家土蔵 6,000千円、鈴木家主屋 2,176千円、大石家主屋 476千円、大石家屋根附属屋 1,653千円、西尾家主屋 2,759千円 合計17,352千円</p> <p>市民団体「美濃の町並みを愛する会」「町並み案内ボランティア」への活動補助。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により補助金交付しませんでした。</p>
------------	--

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	20,604,523	27,041,425	17,661,633	15,015,000	
② 人件費	2,775,000	3,675,000	4,875,000	2,025,000	
③ 合計コスト ①+②	23,379,523	30,716,425	22,536,633	17,040,000	
前年度比		131.4%	73.4%	75.6%	
財源内訳	国・県支出金	10,083,000	13,269,000	8,690,000	6,985,000
	市債				
	その他特定財源				
	一般財源	13,296,523	17,447,425	13,846,633	10,055,000
④ 活動一単位当たりコスト	3,339,931.9	4,388,060.7	3,219,519.0	3,408,000.0	
前年度比		131.4%	73.4%	105.9%	
⑤ コストに関する増減理由	令和3年度は業務量の見直しにより合計コストが増加しましたが、事業費が減少したため、活動一単位当たりのコストが減少しました。令和4年度は業務量の見直しにより合計コストが減少しましたが、修理件数が減少したため、活動一単位当たりのコストが増加します。市民団体への活動補助金は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による事業の縮小のため交付しませんでした。				

(3) 活動指標	指標名	修理修景実施数				単位：	件
	指標説明	該当地区において補助金を交付して実施した建築物の修理修景事業の実施件数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	7	7	7	5		

4. 評価・課題	<p>事務事業内容のほとんどが、建築設計・監理・査定であり、本物の景観を後世に伝えていくために技術面での吟味が必要であると同時に、専門の知識を習得した者が担当できる体制を整えることが必要です。</p> <p>また、美濃市における補助制度の開始は、消費税率が5%であった平成11年であり、その後に消費税率8%、さらに10%に変更になっても補助金額の上限(伝建物600万円、非伝建物400万円)を改正しておらず、施主の費用面での負担軽減対策(例えば、角地の建物は外観延長・面積が多く、工事費が増大する。)を講ずる必要があります。</p> <p>市民団体の会員高齢化に伴い、年々会員数が減少傾向にあります。</p>
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>住民からの要望件数増加に対応できる、財政的措置の拡充が必要です。</p> <p>地区内における新築等、即座に対応できる財政的措置も必要です。</p> <p>町並みを訪れる観光客の、観光時間に合わせた案内コース等のメニューを充実させ、旅行事業者等に積極的に働きかける必要があります。</p> <p>また会員が高齢化しており、次世代を担う若者の会員の入会促進と育成するための取り組みが必要になります。</p>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝和人
<p>美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区は、観光施策・文化財保護の施策の中核であり、今後継続的に実施していく必要があります。あわせて、ボランティア育成並びに会員増のため今後も継続して運営補助していく必要があります。</p>		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-18	市体育館施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、市体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館の3施設の管理 ・体育施設管理業務委託 ・清掃委託 ・消防設備点検業務委託 ・浄化槽保守点検業務委託 ・光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	8,091,949	4,608,595	4,224,160	2,808,000	
② 人件費	825,000	900,000	900,000	600,000	
③ 合計コスト ①+②	8,916,949	5,508,595	5,124,160	3,408,000	
前年度比（％）		61.8%	93.0%	66.5%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	708,770	608,250	728,630	680,000
	一般財源	8,208,179	4,900,345	4,395,530	2,728,000
④ 活動一単位当たりコスト	28,951.1	17,943.3	16,745.6	11,101.0	
前年度比（％）		62.0%	93.3%	66.3%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は令和2年度に比べて修繕や工事が減少したため、活動一単位あたりのコストが減少しました。令和4年度は修繕や工事を予定していないため事業費が減少し、業務量の見直しにより人件費が減少しているため、活動一単位あたりのコストが減少しています。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位：	日
	指標説明	体育館の開館日数					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	308	307	306	307		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000				
	実績値	25,921	16,829	18,788					
達成度（％）	86.4%	56.1%	62.6%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
施設が老朽化しており、修繕が必要な箇所も多くあり、優先順位をつけた計画的な修繕が必要です。利用者については昨年度より増加しました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
美濃市内の体育館を安全安心に使用できるよう、維持管理を適正に実施するとともに、修繕が必要な箇所を優先順位をつけて修繕していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
適正に維持管理するとともに、老朽化した施設を優先順位をつけて計画的に修繕します。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-19	各地区グラウンド施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、地区グラウンドを適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・下牧・御手洗・大矢田・藍見・中有知の5箇所のグラウンドの管理業務委託 ・光熱水費など ・グラウンドの土の補給

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	1,460,310	1,227,375	1,302,876	1,393,000	
② 人件費	825,000	900,000	900,000	975,000	
③ 合計コスト ①+②	2,285,310	2,127,375	2,202,876	2,368,000	
前年度比（％）		93.1%	103.5%	107.5%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	3,100	4,180	0	5,000
	一般財源	2,282,210	2,123,195	2,202,876	2,363,000
④ 活動一単位当たりコスト	6,365.8	5,925.8	6,136.1	6,596.1	
前年度比（％）		93.1%	103.5%	107.5%	
⑤ コストに関する増減理由（R3年度実績、R4年度見込）					

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位：	日
	指標説明	利用可能な日					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	359	359	359	359		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	御手洗グラウンドの利用者数							
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	11,000	10,000	10,000	10,000				
	実績値	8,607	6,528	8,938					
達成度（％）	78.2%	65.3%	89.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
各グラウンドを安全安心に使用できるよう維持管理を実施しました。施設が老朽化しており、各所で修繕が必要なことが課題です。利用者数については、令和2年度より増となりました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
修繕が必要な箇所については、優先順位をつけて、修繕を行っていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
市民が利用しやすいグラウンドとする為、適正に維持管理をしていきます。修繕が必要な箇所については、優先順位をつけ、計画的な修繕を行っていきます。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-20	和紙の里スポーツ広場施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、和紙の里スポーツ広場を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・委託管理業務委託 ・電気設備保守点検業務委託 ・浄化槽清掃点検業務委託 ・光熱水費など

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	5,222,792	6,198,075	8,802,247	9,068,000	
② 人件費	825,000	900,000	900,000	975,000	
③ 合計コスト ①+②	6,047,792	7,098,075	9,702,247	10,043,000	
前年度比（％）		117.4%	136.7%	103.5%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	1,404,703	925,013	1,022,235	1,875,000
	一般財源	4,643,089	6,173,062	8,680,012	8,168,000
④ 活動一単位当たりコスト	19,635.7	23,120.8	31,603.4	32,713.4	
前年度比（％）		117.7%	136.7%	103.5%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は高圧電気設備取替工事を行ったため事業費が増額となり、活動一単位あたりのコストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明	和紙の里スポーツ広場開館日数				
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
	実績値	308	307	307	307	

(4) 成果指標	指標名	年間の利用者数		単位：	人	評価：	+
	指標説明	施設の年間利用者数					
	目標値の設定方針	前年度実績以上					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	目標値	13,000	13,000	13,000	13,000		
	実績値	10,647	6,568	7,725			
達成度（％）	81.9%	50.5%	59.4%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価		A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No				
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No				
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No				
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No				

5. 評価・課題	
安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており計画的な修繕が必要です。利用者数の増減はありますが、一定数の利用はあります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
優先順位をつけ、計画的に修繕をしていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
利用しやすい施設にするために、老朽化した施設を計画的に修繕していきます。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-21	運動公園等施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、運動公園等を適正に維持管理します。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園管理業務委託 ・テクノパーク・テニスコート管理業務委託 ・浄化槽点検清掃・水質検査業務委託 ・電気設備保安管理業務委託 ・貯水槽点検清掃・水質検査業務委託 ・運動公園光熱水費など ・台山ヒロックのポンプ及びトイレの電気料金、トイレの上下水道料 ・市民プール(休止中)の光熱水費

(2) 事務事業実施にかかるコスト		（単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
① 直接事業費	22,690,627	16,105,884	10,351,081	10,706,000		
② 人件費	2,475,000	2,700,000	2,700,000	1,650,000		
③ 合計コスト ①+②	25,165,627	18,805,884	13,051,081	12,356,000		
前年度比（％）		74.7%	69.4%	94.7%		
財源内訳	国・県支出金					
	市債					
	その他特定財源	1,467,888	1,391,433	1,326,268	1,233,000	
	一般財源	23,697,739	17,414,451	11,724,813	11,123,000	
④ 活動一単位当たりコスト	81,706.6	61,257.0	42,650.6	40,247.6		
前年度比（％）		75.0%	69.6%	94.4%		
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は修繕を実施しなかったため事業費が減額となり、合計コスト及び活動一単位あたりのコストが減少しました。令和4年度は業務量の見直しにより人件費が減額したため活動一単位当たりのコストが減少しました。					

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位：	日	
	指標説明	運動公園の開館日数						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	実績値	308	307	306	307			

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明	運動公園・台山グラウンドの年間利用者数						
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	48,000	42,000	37,000	42,000			
	実績値	34,802	29,413	32,112				
達成度（％）	72.5%	70.0%	86.8%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
老朽化した施設の修繕を行うとともに、安全に使用できるよう施設の維持管理を実施しました。施設全体が老朽化しており、計画的な修繕が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
老朽化した施設が多いため、優先順位をつけ、計画的な修繕を検討していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
令和3年度は利用者が増となりましたが、施設は老朽化が著しいため、利用しやすい施設に改善する必要があります。		
今後の方向性	1. 継続 (1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-22	夜間学校開放施設管理事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興及び市民の健康づくりを促進するため、各小中学校体育館を適正に維持管理します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	・学校開放体育館6か所の維持管理（鍵の貸出業務は委託で実施）

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）					
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	250,000	250,000	262,650	300,000	
② 人件費	825,000	900,000	900,000	1,275,000	
③ 合計コスト ①+②	1,075,000	1,150,000	1,162,650	1,575,000	
前年度比（％）		107.0%	101.1%	135.5%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	214,305	360,020	498,430	300,000
	一般財源	860,695	789,980	664,220	1,275,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,986.1	3,194.4	3,238.6	4,375.0	
前年度比（％）		107.0%	101.4%	135.1%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和4年度は業務量の見直しにより人件費が増加したため、活動一単位あたりのコストが増加しました。				

(3) 活動指標	指標名	開館日数			単位：	日
	指標説明					
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
		360	360	359	360	

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数			単位：	人	評価：	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	51,000	40,000	40,000	40,000			
	実績値	34,541	26,252	38,522				
達成度（％）	67.7%	65.6%	96.3%					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	適正な維持管理を実施しました。
----------	-----------------

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
昨年同様、体育館利用団体が同一種目の場合は、合同で使用するよう勧めます。美濃小、中有知小、美濃中の体育館は2面利用できるので、2団体の利用を依頼していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
利用団体が増加傾向のため、利用日時の調整や合同利用等の対策を進め、スポーツの振興を促します。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-23	体育施設改修等事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	老朽化及び損傷した体育施設を修繕し、利用者の安全確保とスポーツ振興及び市民の健康づくりを促進します。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃市体育館・洲原体育館・大矢田体育館 ・曾代グラウンド・和紙の里スポーツ広場グラウンド・各地区グラウンド ・市民球場・生涯学習施設体育館・各学校体育館 以上の体育施設の緊急的な修繕を行う。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	2,211,034	3,453,560	889,240	1,000,000
② 人件費	825,000	1,125,000	1,725,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	3,036,034	4,578,560	2,614,240	2,275,000
前年度比（％）		150.8%	57.1%	87.0%
財源内訳	国・県支出金			
	市債			
	その他特定財源	284,755	0	0
	一般財源	2,751,279	4,578,560	2,614,240
④ 活動一単位当たりコスト	9,889.4	14,865.5	8,543.3	7,386.4
前年度比（％）		150.3%	57.5%	86.5%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3・4年度は大規模な修繕等の予定がないため、事業費及び活動一単位当たりのコストが減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	開館日数				単位：	日
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		307	308	306	308		

(4) 成果指標	指標名	年間利用者数				単位：	日	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	105,000	140,000	105,000	105,000				
	実績値	132,209	94,528	96,783					
達成度（％）	125.9%	67.5%	92.2%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
緊急性のあるものから修繕しました。計画的な修繕が必要です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
優先順位をつけ、順次修繕していきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
老朽化により修繕が必要な箇所を、順次修繕していきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-24	スポーツ推進委員活動事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ振興のため、スポーツの実技指導及びその他スポーツに関する指導助言を行います。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室の開催 地区、県、東海四県、全国研究大会の参加 各種スポーツ大会の協力及び講習会の開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,624,722	977,048	846,620	2,177,000
② 人件費	975,000	900,000	900,000	1,275,000
③ 合計コスト ①+②	2,599,722	1,877,048	1,746,620	3,452,000
前年度比（％）		72.2%	93.1%	197.6%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,599,722	1,877,048	1,746,620
④ 活動一単位当たりコスト	649,930.5	1,877,048.0	1,746,620.0	863,000.0
前年度比（％）		288.8%	93.1%	49.4%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和4年度は業務量の見直しにより人件費及び事業費が増額したことにより、合計コストが増加し、研修会の回数が増加していることから活動一単位当たりのコストは減少します。			

(3) 活動指標	指標名	研修会回数				単位：	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		4	1	1	4		

(4) 成果指標	指標名	研修会参加人数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	70	70	70	70				
	実績値	60	16	17					
達成度（％）	85.7%	22.9%	24.3%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の多くが中止となりました。 各地区から2名の委員が選出されていますが、一つの地区で同時に2人も変わることがないように調整をする必要があります。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>委員会で情報共有を行いながら、スポーツ教室・委員活動を実施していきます。</p>		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
<p>スポーツ推進委員は、市全体の生涯スポーツの普及や市の目指す市民の体力向上に寄与しています。また、各地区において、公民館活動、体育振興会、体育推進委員会のメンバーとして、市と市民のパイプ役を担っています。今後も、積極的に参画して、地区における生涯スポーツ振興と市のスポーツのあり方等について助言をしていただきます。</p>		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-25	各種体育大会開催事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	「1市民1スポーツ」の実現を目指して各種体育市民大会を開催します。
------------	-----------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	市民大会開催により、スポーツとの出会いの場の提供と市民の健康増進を推進しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,338,103	730,000	879,804	1,430,000
② 人件費	825,000	900,000	900,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	2,163,103	1,630,000	1,779,804	2,330,000
前年度比（%）		75.4%	109.2%	130.9%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,163,103	1,630,000	1,779,804
④ 活動一単位当たりコスト	540,775.8	815,000.0	889,902.0	776,666.7
前年度比（%）		150.7%	109.2%	87.3%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度はグランドゴルフ大会を新規事業として実施したため、活動一単位当たりのコストが増加しました。令和4年度は市レクリエーション協会への補助が増額となり合計コストが増加しますが、例年どおりの大会回数を見込んでいるため、活動一単位当たりのコストは減少します。			

(3) 活動指標	指標名	補助大会数				単位：	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		4	2	2	3		

(4) 成果指標	指標名	参加者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	250	250	250	350				
	実績値	236	194	306					
達成度（%）	94.4%	77.6%	122.4%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
市民ペタンク、ゴルフ大会に合わせ、多くの方に知ってもらうため教室を開催しました。高齢者のみならず、若い方にも参加してもらえました。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
多くの参加者が得られるように、PRの手法や新規大会を開催していく必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
市民大会を各種開催しているが、年々参加者が減少しているため、種目の検討、開催時期や会場の変更等、大会の運営方法の見直しを検討します。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-26	体育協会補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツの普及と競技スポーツの振興、市民の健康づくりに寄与することを旨とする体育協会を支援してスポーツ活動の正しい普及発展を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> 市民大会の開催 競技種目団体への育成費・強化費の助成 スポーツ少年団への助成金交付 機関紙の発行 特別強化事業の開催 優秀指導者、優秀選手の表彰 全国大会出場者激励会の開催

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	1,394,000	1,178,000	1,394,000	1,394,000
② 人件費	825,000	600,000	600,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	2,219,000	1,778,000	1,994,000	2,294,000
前年度比（％）		80.1%	112.1%	115.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,219,000	1,778,000	1,994,000
④ 活動一単位当たりコスト	170,692.3	296,333.3	332,333.3	229,400.0
前年度比（％）		173.6%	112.1%	69.0%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和4年度は業務量の見直しにより人件費が増額したため合計コストが増加しましたが、大会開催を例年どおり見込んでおり、活動一単位当たりのコストが減少しています。			

(3) 活動指標	指標名	市民大会開催数				単位：	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		13	6	6	10		

(4) 成果指標	指標名	県民スポーツ大会参加者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	135	120	120	120				
	実績値	89	0	0					
達成度（％）	65.9%	0.0%	0.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症による影響が続き大会数が減少するとともに成果指標となっている県民スポーツ大会も中止となりました。</p> <p>少子化、人口減少並びに競技の多種多様化等に加え新型コロナウイルス感染症感染拡大の長期化により市民大会の開催数・参加チーム数が減少傾向にあります。出場選手及び参加者数の増加及び競技力向上に向けた取り組みが必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
<p>協会所属の競技団体へ育成を中心とした強化及び底辺の拡大を促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団またはジュニアクラブの募集 多種多様な初心者教室また体験教室の開催 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
<p>協会所属の競技団体の中には、世代交代または後進選手・指導者の育成ができていない団体もあり、小学生、中学生時からの指導育成がなされ、高校または大学卒業後に競技団体において中心選手として、晩年は指導者として活躍できるような形態となる環境を整備していきます。</p> <p>各競技団体にて底辺の拡大が、市民スポーツの向上、競技力向上、健康増進につながるようになります。</p>		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-27	スポーツ少年団活動補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	尾関 隆則
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し、青少年の心身の健全な育成を図ります。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・母集団研修会 ・「指導者・育成者」表彰式及び「優秀団・優秀団員」表彰 ・認定員養成講習会 ・一日体験入団 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動補助金交付無し。

(2) 事務事業実施にかかるコスト					（単位：円）
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
① 直接事業費	363,000	363,000	0	363,000	
② 人件費	1,200,000	975,000	975,000	1,200,000	
③ 合計コスト ①+②	1,563,000	1,338,000	975,000	1,563,000	
前年度比（％）		85.6%	72.9%	160.3%	
財源内訳	国・県支出金				
	市債				
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,563,000	1,338,000	975,000	1,563,000
④ 活動一単位当たりコスト	390,750.0	334,500.0	975,000.0	312,600.0	
前年度比（％）		85.6%	291.5%	32.1%	
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度は補助金を交付しなかったため、合計コストは減少しましたが、実施した事業が減少したため、活動一単位当たりのコストが増加しました。令和4年度は補助金を交付予定であり、業務量の見直しにより人件費が増加したため、合計コストは増加しましたが、事業を例年通り実施予定のため、活動一単位当たりのコストは減少します。				

(3) 活動指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業				単位：	回
	指標説明	美濃市スポーツ少年団本部において実施した事業					
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
	実績値	4	4	1	5		

(4) 成果指標	指標名	美濃市スポーツ少年団本部事業参加者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明	美濃市スポーツ少年団事業に参加した人数							
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	200	150	150	150				
	実績値	137	29	18					
達成度（％）	68.5%	19.3%	12.0%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
スポーツ少年団登録者が減少傾向にあるため、体験入団等を通じて団員加入率の減少に歯止めをかけることが課題です。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
指導者・育成者に研修会の参加を呼びかけるとともに、日時設定についても平日の夜間は避け、土日で行います。また、体験入団を通じて実際に各スポーツを体験し、スポーツ少年団員の増加が見込めるイベントを行います。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
指導者・育成者向けの研修日は土日等参加しやすい日時にします。新規団員獲得に向け、体験入団等を実施していきます。また、各種スポーツを保護者にもPRし、スポーツ少年団を理解してもらう取組をしていきます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-28	スポーツ振興事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	スポーツ教室の企画・運営、各種スポーツ大会のマネジメントを実施してスポーツ振興を図ります。
------------	---

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会のマネージメント 各種スポーツ教室の開催 体育施設の貸出、料金徴収、清掃 NPO法人うだつアップクラブへの業務委託

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	6,150,870	6,151,980	6,094,000	6,094,000
② 人件費	825,000	900,000	900,000	900,000
③ 合計コスト ①+②	6,975,870	7,051,980	6,994,000	6,994,000
前年度比（％）		101.1%	99.2%	100.0%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	6,975,870	7,051,980	6,994,000
④ 活動一単位当たりコスト	2,325,290.0	3,525,990.0	3,497,000.0	2,331,333.3
前年度比（％）		151.6%	99.2%	66.7%
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和4年度は例年通りの大会開催を見込んでいるため、活動一単位当たりのコストが減少します。			

(3) 活動指標	指標名	スポーツ大会数				単位：	回
	指標説明						
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込		
		3	2	2	3		

(4) 成果指標	指標名	スポーツ施設利用者数				単位：	人	評価：	+
	指標説明								
	目標値の設定方針	前年度実績以上							
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込				
	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000				
	実績値	69,330	59,338	67,384					
達成度（％）	86.7%	74.2%	84.2%						

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題
令和3年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、令和2年度にくらべ利用者数は増加しました。少数の人員で、貸館業務を的確にこなし、利用者から信頼があります。施設の維持管理の委託が大変厳しい状況であるので、現状の見直しが必要です。スポーツ教室の企画運営を検討する必要があります。

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
平成25年度より独自の企画運営のスポーツ教室・大会などを実施していますが、新たに計画しスポーツの普及・啓発を図る必要があります。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
総合型地域スポーツクラブ「美濃うだつアップクラブ」の運営方法を具体的に検討し、将来的に独立運営していくために事業規模を拡大します。又、他の委託事業との整合性も考慮し、事業統合も考えます。		
今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 3 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	53-29	ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ開催補助事業	担当課	人づくり文化課
			作成者	川合 健介
施策体系	総合計画上の施策名	5	スポーツ活動の推進	
	施策名（評価単位）	(37)	スポーツ活動の推進	

2. 事務事業の目的	自転車国際ロードレースツアー・オブ・ジャパンを開催し、スポーツ振興と自転車普及促進を図るとともに、美濃市を自転車のまちとしてPRします。
------------	--

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（令和3年度）	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会中止。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込
① 直接事業費	9,800,000	0	0	0
② 人件費	1,050,000	900,000	900,000	300,000
③ 合計コスト ①+②	10,850,000	900,000	900,000	300,000
前年度比（％）		8.3%	100.0%	33.3%
財源内訳	国・県支出金	2,700,000	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	3,800,000	0	0
	一般財源	4,350,000	900,000	900,000
④ 活動一単位当たりコスト	26,335.0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
⑤ コストに関する増減理由 （R3年度実績、R4年度見込）	令和3年度および令和4年度は中止となりました。			

(3) 活動指標	指標名	ボランティア数			単位：	人
	指標説明					
	実績値	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	
		412	0	0	0	

(4) 成果指標	指標名	観客数			単位：	人	評価：	+
	指標説明							
	目標値の設定方針	前年度実績以上						
		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込			
	目標値	30,000	0	0	0			
	実績値	31000	0	0				
達成度（％）	103.3%	#DIV/0!	#DIV/0!					

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	A
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes	1	No			
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要がないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
令和2年度～4年度まで新型コロナウイルス感染症のため中止となっていますが、開催時にはレースがメディアに取り上げられることにより、美濃市をPRすることができています。 午前9時から午後1時頃までの通行規制があり、レースコースの沿線住民の理解は得られていますが、業者やゴルフ場利用者等、レースの開催を知らない車両への対応の検討をする必要があります。	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和4年4月
愛三工業レーシングチームが美濃市のホームチームとなり、多くの市民が選手と交流し、ツアー・オブ・ジャパンとレースについて理解してもらうことにより、市全体でチームを応援し大会を盛り上げていきます。		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	曾貝 和人
大会運営をNPOの独自運営へ向けて協力し、大会運営に当たります。		
今後の方向性	1. 継続 （1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合）	